

願書番號 昭和十二年第二三六七七號
出願 昭和十一年一月十六日 (前特許出願日採用)
公告 昭和十二年十月十二日

(特許局發行) 一九一

濱松市廣澤町三六三番地 高柳健次郎
出願人 考案者
濱松市廣澤町一五番地ノ一 濱松高等工業學校内 清
東京市麴町區丸ノ内一丁目六番地一
東京海上ビルディング新館内
代理人 辨理士 杉村 信三 近

飛越走査ノ同期信號發生裝置

圖面ノ略解 第一圖ハ本案裝置ノ略線の系統圖第二圖ハ其ノ一部詳細接續ヲ示ス線圖ナリ

實用新案ノ性質、作用及效果ノ要領

從來「テレビジョン」方式ニ於テ飛越走査ヲ爲スニ當リテハ高速度走査用及低速度走査用電流相

互間ノ始發關係ヲ各低速度走査毎ニ所定狀態ニ從テ轉換的ニ變更スルヲ要シ是カ爲甚複雜ナル同期信號裝置ヲ使用スルヲ普通トス

本案ハ甚簡單ナル配置ニ依リ上述セル走査用電流ノ轉換ヲ有效適切ニ遂行スル同期信號發生裝置ヲ得ントスルモノニシテ本案ニ於

テハ高速度走査周波數fhヲ有スル發振器①ト其ノ二倍ノ周波數fsヲ有スル發振器②トヲ設ケ發振器②ヲ基準トシテ發振器①ヲ制御

スルト共ニ發振器②ノ奇數分ノ一ノ周波數ヲ有スル發振器③④⑤ヲ順次制御スル様配置シ發振器⑤ヲ低速度走査周波數flヲ有スル

發振器ニ選定ス以上ハ二回ノ飛越走査ヲ爲ス場合ニシテ今數值例ヲ舉ケテ說明センニ每秒像數ヲ二五全走査線數ヲ三四三本トス然

ルトキンFL: $25 \times 2 = 50$ トナリ高速度走査周波數fh: $25 \times 343 = 8575$ 「サイクル」ナル而シテ是等兩周波數ヲ得ルニハ標準周

波數fsヲ $8575 \times 2 = 17150$ 「サイクル」ニ選定ス此ノモヨリFLヲ得ルニハ發振器③④及⑤ヲ順次發振器②ノ1/7ノ周波數ヲ有セシ

ム然ル時ハ次ノ關係アリ

$$\begin{aligned} fh &= 7 \times 7 \times 7 = 49 \times 7 = 343 \\ FL &= \frac{2}{2} = 2 \end{aligned}$$

$$f_h = 50 \times \frac{343}{2} = 50 \times 171.5 (\text{サイクル})$$

而シテ發振器(2)ノ標準周波數ヲ f_s トシ A ヲ任意ノ正ノ整數トセハ

$$\frac{f_s}{f_l} = 2A \pm 1$$

トナル事明カナリ今發振器(1)及(5)ヲシテ夫々高低兩速度走査用鋸齒狀波形電壓發生裝置ヲ制御セシムル時ハ第二回目ノ低速度走査時低速度走査線ハ高速度走査線ノ第一七一及一七二本目ノ間ヨリ始發シ第三回目ノ走査時復舊シ二回ノ飛越走査ヲ爲シ得ル事明カナリ尙他ノ數值例ヲ舉ケンニ今全走査線數ヲ二四五本トセル場合ニハ $5 \times 7 \times 7 = 245$ ナル故 f_s ヨリ順次 $1/5 \quad 1/7 \quad 1/7$ ニ遞減スル事ニ依リ f_l ヲ得ヘシ同様にシテ全走査線數ヲ任意個ノ奇數ノ積ニ選定シ得發振器(1)ハ任意適當型ニテ可ニシテ第二圖ハ本案裝置ノ詳細接續ヲ示シ發振管(6)ト發振回路(7)トヲ具備スル正弦波形電壓ヲ發生スル場合ナリ又發振器(1)(3)(4)(5)ハ普通ノ弛緩振動發生器ヲ利用スルヲ可トシ發振管(8)ト結合線輪(9)ト「グリッド」回路ニ挿入セラレタル發振要素(10)トヲ具備ス而シテ發振要素(10)ノ電氣的定數ヲ適當ニ選定スル事ニ依リ發振器(2)ノ周波數ノ $1/7 \quad 1/49$ ニ順次低下シ得ヘシ今之ヲ順次制御セシムルニハ發振器(2)ノ「プレート」回路ヲ夫々可變蓄電器(11)及(12)ヲ通シテ發振器(1)及發振器(2)ノ「グリッド」回路ニ關聯セシム發振器(3)ハ發振器(2)ノ「プレート」ヲ具備スルモ發振器(2)ト全ク同一周波數ニ選定セラル次ニ發振器(2)ノ「プレート」回路ヲ適當ノ增幅管(13)ヲ通シテ發振器(3)ノ「グリッド」回路ニ關聯セシム更ニ發振器(3)ノ「プレート」回路ヲ同様ニ增幅器(14)ヲ介シテ低速度發振器ノ「グリッド」回路ニ關聯セシムル様配置ス增幅器(14)ハ順次ノ制御ヲ確實ナラシムルニ供ス尙周波數遞減回路トシテハ他ノ任意適當ノ回路ヲ使用シ得ヘシ

次ニ三回ノ飛越走査ヲ爲ス場合ニモ全ク同様ノ裝置ヲ使用シ得ルモノニシテ

$$\frac{f_s}{f_l} = 3A \pm 1$$

トナル様各發振器ノ周波數ヲ適當ニ選定セハ可ナリ同様ニシテ一般ニ n 回ノ飛越走査ヲ行ハントスル時ハ

$$\frac{f_s}{f_l} = nA \pm 1$$

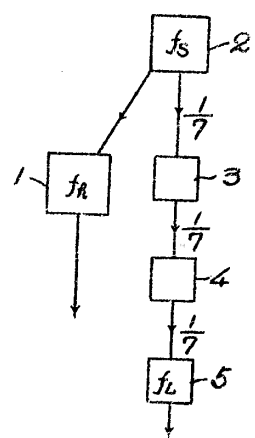
トナル様發振器ノ周波數ヲ選定ス

斯クスル時ハ標準發振器(2)ヲ基準トシテ低速度發振器(5)及高速度發振器(1)ハ確實ニ制御セラレ常ニ任意 n 回ノ飛越走査ニ必要ナル同期用電壓ヲ發生シ之ニ依リ高低兩速度走査用鋸齒狀波形電流ノ始發ヲ制御シ得ル事明カナリ

從テ本案ニ依レハ飛越走査中各低速度走査線毎ニ高速度走査線ヲ所定間隔宛移動シ高速度走査線ノ重合ヲ確實有效ニ阻止シ得ル實用上ノ效果アリ

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク「テレビジョン」飛越走査ノ同期信號發生裝置ニ於テ n ヲ飛越走査ノ回數トシ A ヲ任意ノ正ノ正數トスル時高速度周波數ノ n 倍ノ周波數ヲ有スル標準發振器(2)ヲ設ケ之ヲ高速度發振器(1)ニ關聯セシムルト共ニ該標準發振器(2)ニ對スル周波數比 n 倍 n ヲ有スル低速度發振器(5)ニ一個又ハ複數個ノ發振器(3)(4)ヲ介シテ關聯セシメテ成ル飛越走査ノ同期信號發生裝置ノ組合セ

第一圖



第二圖

